

## 平成 23 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 1	現代日本語学

問題 以下のすべての設問に解答しなさい。解答する順序は自由ですが、設問番号を記すこと。

- 1 日本語の音韻・音声に見られる通時的変化について、具体的な例を挙げて説明しなさい。
- 2 日本語の外来語を巡る様々な議論について、具体的な例を挙げて説明し、その解決策についてあなたの考えを述べなさい。
- 3 言語接触について、社会言語学的観点から述べなさい。
- 4 例にならって、(1)～(8)の各説明に対応する日本語の例文を作りなさい。

例：形容詞を述語とする文 → 答え：この花は赤い。

- (1) 間接受動文
  - (2) 主語がなく、補うこともできない文
  - (3) 動作継続にも結果継続にも解釈できる文
  - (4) 重文
  - (5) 話し手の想起を表す文
  - (6) 話し手以外の人物の願望を表す文
  - (7) うなぎ文
  - (8) 話し手と聞き手の共有情報を表す文
- 5 日本語における存在動詞の文法化について述べなさい。

6 次の a.~d.文に現れる「がち」を、二つのグループに分け、それぞれの意味を説明しなさい。

- a. 生徒は、遠慮がちに先生に質問した。
- b. 最近友人が病気がちだ。
- c. 冬は空気が乾燥しがちなので、火の元には十分に注意するべきだ。
- d. 彼女はこれまでに何が起こったかを、伏し目がちに話し始めた。

7 次の文は「主語繰り上げ文」と呼ばれる。なぜこのように呼ばれるのかを説明しながら、この文について、あなたが知るところを論じなさい。

花子は太郎を天才だと思った。

教授は、その生徒の態度を反抗的だと感じた。

8 次の各用語について解説しなさい。

- ア コード・スイッチング    イ 言語行動    ウ 主題
- エ 多義性    オ 経路のヲ    カ 観念指示

以上